

#### ■フランス：環境省、300万kWの太陽光の競争入札実施を発表

ロワイヤル環境・エネルギー相は2016年8月24日、300万kW規模の太陽光発電開発に向けて、競争入札を開始することを発表した。フランスは、太陽光発電の設備容量を現在の670万kWから、2023年までに1,820万～2,020万kWに増やすことを目標としている。同目標達成に向けて、入札制度は2017年から2020年までの間に、1回につき50万kWを6カ月ごとに6回行われる。入札者は、1kWh当たりの発電料金、環境への配慮、発電所の開発能力等を考慮され選考される。また、落札者には2016年5月28日と30日に公布された政令で定められた再生可能エネルギー開発促進のためのFIP（フィードイン・プレミアム）制度が適応される。